



古川雄大さん

祝



山吹舞鶴

発行 会一
 佐伯鶴城同窓会
 編集 委員 会
 広報 委員 会
 印刷 刷印
 (有) 岡 沢 印



埼玉西武ライオンズドラフト2位指名

古川雄大さんが佐伯鶴城同窓会のために独占インタビューを受けてくれました。

インタビューア：梶川（高49回生・以下K）
 僕らの代は廣瀬純（元広島カープ）と同級生なので、こうやって後輩でまたプロ野球選手になる人と話せるとは：

K..野球を始めたのはいつからですか？

古川（以下F）..小学校3年からです。

K..思ったより遅いですね

F..そうですね、みんな小学校入ったらか2年生でしたね。

K..始めたときはどんな感じでした？

F..父の影響で野球部に入る前から、素振りをしていて、その時から野球が好きでした。

K..プロ野球選手になりたいと思ったのは？

F..最初の頃は小さい頃の憧れ的な感じでしたが、本格的になりたいと思いだしたのは中学生1年の頃、チームの監督がプロ野球選手のお父さんで、元ジャイアンツの脇谷選手にお会いした時に、生で見て「すげえな」って思っ、強くプロ野球選手になりたいと思いました。

K..あこがれの選手は？

F..柳田選手です。球界最強バッターと呼ばれていて、憧れました。自分もフルスイングをするようになり目標になりました。

K..どんな選手になりたいですか？

F..打って走って守れる、オールラウンドプレイヤーです。どこで起用されてもそこで活躍できるように。盗塁できる、ホームラン打てる、長打が出れば本塁まで帰れる、チームに貢献できる選手になりたいです。 ↓次ページ

馬場の松



13年ぶり3度目の佐伯鶴城高校勤務。私の高校生時代とは違った景色が見える。また、色々な気持ちが入り込んでいる。

初めは、非常勤講師で何もわからずに我武者羅に教科指導に取り組んだ新卒としての思い出。2度目は、講評を3年、新採用で3年間。予想できなかったトラブル、総合的な学習の時間の指導案作りを試行錯誤した1年間、長野・東京やオーストラリアへの修学旅行での苦い思い出。3度目は、中堅世代として現在勤務。高校時代、入学してすぐ部活動に入ろうと決めていた。しかし、父母に反対されてできなかった。今生徒たちは部活動に入って自分のやりたいようにできているのは保護者や友達の協力のおかげだと思いついてほしい。1年では担任が個性豊かな先生で、私が数学の教員を目指すきっかけになった先生である。2年では文化祭と修学旅行。3年は大学入試。センター試験で失敗して、2次試験で何とか合格できた。進路指導の担任は現在の同僚である。何だかんだで生徒時代は楽しい思い出しかない。次に2度目の勤務。私の夢の一つは高校時代の担任と同僚になることであった。このときに夢がかなった。新採用になって1年目で担任をさせてもらった。訳がわからないまま色々失敗したが、良い経験となった。私も教え子とも同僚になる機会があると思っていたが、この時は実現しなかった。

現在3度目の鶴城高校勤務である。2度目の勤務時に学校全体で取り組もうと決めた内容（課題を昇降口の入れ物に出してからクラスに入る。個人ボックスに鍵をつけない。部活動生者査前学習会）が今も伝統として残っている。今まで残してくれた教職員や生徒に感謝したい。2度目に実現しなかった教え子との勤務も3度目で実現した。教員としての折り返し地点を通過したばかりである。今後も苦勞する出来事が多いと思うが、生徒も教員もワクワクする内容で指導をしていきたい。将来を見通した指導法や行事を伝統として残していければと考える。

三原 将弥（高48回生）

佐伯鶴城だからこそ得たもの

K…鶴城での3年間はどのようにした？

F…人間性が成長した3年間で、チームを育てるためにどうするかだったり、今までは個人としてやってきた野球が、どうやったらこのチームで勝てるか、自分でできることは何か、というのを考えてできるようにしました。

K…チームメイトの存在は？

F…とても頼れる存在です。自分がわがままであったから、ほんとかいつ等には迷惑かけて（周りにから笑い声）来たと思うが、それでも自分をバッテリーの面で頼ってきたり、仲良くしてこちらとしても頼りがいのある仲間です。

K…一番頼っていた部分は？

F…生活面ですかね笑。自分が時間にルーズだったり、忘れ物とかしたりするので、学校での過ごし方は仲間に頼っていました。



K…もしも鶴城じゃなかったら？

F…今の自分は絶対無いと思います。私立の強豪校に行っていたら、今の自分は無い。すごく大事なメンバーだった。小学校のころから知っているメンバーだし、いろんなことが言い合えるし、自分の考えを伝えることができる仲間だった。もし、別の高校に行っていたら、このメンバーじゃなかったら、プロ野球選手になれたという今の自分はない、本当にありがとうって思います。

K…一般的には強豪校に行ったら、プロへの近道な気がしますが、鶴城を選んだきっかけは？

F…自分も最初はそう思っていました。でも中学校のころはそこまで上手くなかったの、佐伯市の中で野球が一番強い高校だし、地元で頑張って目立ちに目立って頭2つ3つ飛び抜けることができたら、おっ！って思っただけでいいのではないのかと思います。

渡辺監督との出会い

K…ほかの方の影響は？

F…3年生になって顧問になった渡辺監督の影響が大きいです。実際にプロ野球選手を輩出している先生だったので、わずか3か月間で、野球の基礎から応用までプロに行く過程まで教えていただいて、野球観が変わった

ので、一番影響が大きいです。鶴城にきて全てが良いほうに向かったの、ほんと良かったんです。



インタビュー中は常に笑顔

地元の期待を背負って

K…鶴城のOBや後輩たち、佐伯市の人の多くが期待して楽しみにしています。実感はありますか？

F…すごく感じています。大分市に出て「古川くん？頑張ってください」と言われます。市内の祭りとかでも小さな子に囲まれたり「古川くん！」と呼んでくれたりするので、「期待されているんだな、プロ野球選手になるんだな」という実感がわきました。この人たちのために、佐伯市が活気づくような活躍をして、もっと応援してもらいたいと思います。

K…鶴城で一番有名な人を目指しましょうよ、野村謙二郎先輩

や渡辺一平先輩も抜きましょうよ

F…日本を背負う侍ジャパンのメンバーになって、先輩方と肩を並べることができるようになりたくて頑張りたいです。

目指せトリプルスリー

K…最後に意気込み、決意を聞かせてください。

F…これからプロ野球という厳しい世界でやっていくわけですが、トリプルスリー、三冠王、タイトルをしっかり取って、鶴城を代表して日本を背負える選手になって、頑張っていきたいと思っています！



インタビューを通して感じたことは、話していると身体が大きなどこにでもいる普通の高校生。でもひとたびバットを振りグラウンドを走る姿は、とてつもない可能性を秘めたプロ野球選手の金の卵。

佐伯鶴城高校から直接ドラフト指名されたのは古川くんが初めてのこと。地方の県立高校でも、彼の有り余る才能が、スカウトの目に留まるほどのものだったのでしょう。

われわれ同窓生にとっても明るい話題となりました。これからの活躍を期待しましょう！



12月28日に、同窓会とPTAから、懸垂幕が贈られ校舎に掲げられました。本人と野球部員全員で記念撮影を行いました。

創立110周年記念式典

令和4年9月25日
さいき城山桜ホール



川村和夫校長



佐伯鶴城同窓会会長
創立110周年記念式典実行委員長
谷川 憲一氏

その後の記念式典では、谷川実行委員長、川村校長、大分県教育委員の挨拶があり、来賓として田中佐伯市長（高23回生）が祝辞を述べ、矢野PTA会長（高44回生）の挨拶。在校生を代表して生徒会長の木許千遥さんが鶴城生としての決意を述べた。

会場には多くの同窓生も来場し、校歌静聴では鶴城への思いを馳せながら心の中で肩を組み大合唱していたようだった。（予定されていた祝賀会は中止となりました。）



村上 憲郎氏

「佐伯鶴城高校 創立110周年記念式典」が、華やかに執り行われました。

令和4年9月25日(日)にさいき城山桜ホール（佐伯市大手町）で開催された。本来、110周年は令和3年での開催でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大を鑑みて、一年の延期を経て開催された式典に先立ち、元グローバル日本法人名誉会長の村上憲郎さん（高18回生）が「Society 5.0の未来を切り開く若者へ」と題して、特別講演を行い、2年生176名は村上氏の熱意ある言葉に耳を傾けた。また、会場での参加できなかった1、3年生は教室でのZOOM視聴、保護者はオンラインでの視聴となった。



渡辺 一平氏

渡辺一平さん（高68回生） 記念講演

リオ五輪水泳日本代表の渡辺一平氏（元200m平泳ぎ世界記録保持者）が「鶴城への思い、今を生きる」と題した記念講演を行った。

在校生とのトークセッションの中では、鶴城生としての様々な経験を踏まえ、軽快なトークで場を盛り上げた。

パリ五輪を目指しトレーニングを続け、世界を見つめ挑戦を続ける姿や言葉に在校生だけでなく会場にいる多くの同窓生もただただ感心し、また応援という形で背中を押すことができた、と思ったことでしょうか。



生徒会長 木許 千遥さん



PTA会長 矢野 伸二氏

次は9年後の120周年に向けて準備を進めていきたい。



全国大会出場・表彰者

弓道部 男子団体

全国高等学校弓道選抜大会
ベスト16

陸上競技部

佐藤遥生 (1年) 走幅跳
とちぎ国体 3位
U16ジュニアオリンピック 6位

麻生貴太 (1年) 三段跳
U16ジュニアオリンピック 6位

増永友弘 (3年) 円盤投
U18ジュニアオリンピック 出場

水泳部

入江崇也 (3年) バタフライ
200m とちぎ国体 6位
100m・200m
ジャパンオープン2022 出場
200mジュニアオリンピック 8位
200m日本選手権 出場

これからも益々のご活躍を
祈念しています!

真帆片帆

「校歌を全員で力いっぱい
歌える日まで」



頭 和 宜
鬼塚

今年4月に着任した鬼塚です。創立110周年記念式典の行われた記念すべき年に、この佐伯鶴城高校で勤務できることは、大変うれしく、また光栄に感じております。

私は以前佐伯鶴城高校に勤務させていただきました。平成5年4月から平成15年3月までの10年間です。それ以来、実に20年振りに鶴城高校に戻ってくるのができました。勤務していた当時の思い出としては、とにかく校歌をいろんな場面で歌っていたということです。入学式や卒業式は

もちろん、月に一度行われる全校集会でも常に校歌を歌う場面がありました。新入生が入学すると、まず初めの学年集会では「校歌紹介」が行われ、国語科の先生が古文の授業のように歌詞を解説してくれました。そして音楽の先生にバトンタッチして歌唱指導が行われ、学年集会が終わるころには新入生全員が歌えるようになっていたものです。

そして、教職員も生徒に負けず校歌をよく歌っていました。新入職員歓迎会に始まり、遠足、鶴城祭といった行事の後、また忘年会、新年会、送別会と、いわゆる打ち上げの最後は必ず校歌斉唱でした。隣同士の先生方と肩を組み、左右に揺れながら大声で歌いました。その輪の中心には鶴城出身の先生が集結し、歌詞を先導しながらみんなを盛り上げてくれました。おかげさまで、佐伯鶴城高校の出身ではない私もすぐに校歌を覚えることができ、鶴城に関わる一員としての一体感を強く感

じたものです。その当時よく使わせていただいた飲食店には、今思えば迷惑な客だったかもしれません。ところがこの数年は「コロナ禍」です。勤務を始めたこの4月から、全校生徒が体育館に一堂に集まることはできませんでした。密を避け、声を出さず、隣のソーシャルディスタンスを保つ必要があったからです。各学期の始業式や終業式も教室への遠隔配信で行われました。校歌斉唱では生徒も職員もマスクを着用し歌詞入りの校歌を聞きながら、声に出さず心の中で歌うという状況でした。

同窓会費はいつでも受け付けています。

年会費 3,000円 コンビニでも入金できます。

—— 終身会費として、下記のような納め方もあります。 ——

終身会費 (現在70歳から79歳の方は、**20,000円**)
(現在80歳以上の方は、**10,000円**)

加入者名 佐伯鶴城同窓会
口座記号番号 01740-6-47995
〒876-0848
住 所 佐伯市城下東町7-1

同窓会費はこちらまで

同窓会は、会費と鶴城振興基金により下記の支援をしております。

- 大学訪問交通費支援
- 「鶴城未来塾」(同窓生を講師にした講演会)の支援
- リーダー育成奨学金
- 部活動の補助
- 休日自主学習を指導する教職員に日当支援
- 予備校活用援助(特別講師の招聘、教師の研修・生徒派遣)等
- 会報の発行・送付



本紙に掲載されています古川雄大くんのインタビュは入団発表会見前の12月1日に行いました。鶴城のグラウンドで練習後に約束をし、周りに同級生も数名いる状況でリラククスしてもらって実施しました。常に笑顔でハキハキと話す姿は、すでにプロ野球選手としての意識の芽生えを感じました。

私自身、子どものころから埼玉西武ライオンズの大ファンなので古川くんの入団は個人的にはとても嬉しく、3年目くらいから頭角を現し、松井稼頭央監督のような走攻守そろった選手に成長してほしいと願っています。

さて受験生にとってはいよいよ追い込みの時期です。さいき桜ホールで平日の夕方や土日は多くの鶴城生が勉強をしている姿を見かけます。また放課後の校舎内でも、購買部の前のテーブルでも勉強している姿を目にします。この頑張りで将来へ向けた選択肢が広がっていきます。心の中で「頑張れ、鶴城生!」と思いつながら見守っている同窓生も多いのではないのでしょうか。これからもわれわれ同窓会は、そんな鶴城生の背中をしっかりと支え、押してあげられるようなそんな存在でありたいです。

広報委員 染矢 和陽(高47回生)